

福總新聞

(毎月十五日)一回
定價一紙十錢 壹ヶ月十錢
廣告料 雜報欄五十錢
發行所 福島縣平町新聞社
市島 三

ハリスク
局藥邊野山
目丁五町平

農村の哀話と日本の政治家

統計の示す所によると農村の人達は、然し實生活上に村を離れて出稼ぎに赴く人於てはいつも背負投げを喰達の数に五十萬の余に上つはされてある有様だ。て居る、農村の人達の苦悶、其政友會は「農村」の支持を閉期を利用して出稼ぎを誇り彼等の爲めに善き施設をする風習は、從來からもをして呉れる筈であつたが、あるのであつた、事は新に彼等が政權を握ること事久取上げる程のものではないし、時に拘はらず彼の反動然し吾人は少しく、特筆田中内閣ですら此の最大の大書して如何に農村が苦し誇りとする、農村の救済のい出稼であるか云ふ事は現實化する事が出来なかつ同じ出稼ではある、けれどたのである。

其姿に於て、格段の相違があると思ふ。現内閣の「明日からの景氣も」一日を趁ふて反動的出稼しなればならぬに其不景氣は深刻されて農村の人達は更に出稼の數がの深刻に物語つてゐるもの倍加すると、其の苦痛やである、今ではそれ等の農村生活には餘裕は少しも變村に昔の如く、農村独自の愉快や餘裕等の微塵もなく壓力を加へて來てゐるのである。

生活の程度の低い農家の人達がもうそれすらも堪へ切れなくなつて父祖傳來の愛着措く能はざる郷土を捨て且つ離れて、生活の糧を他所の別天地に求めなければならぬ事、苦しい意味での出稼ぎであり悲惨なる實生活を立證して居るのである。『農は國の大本であ』を文字の言葉の上だけで、徒らに失業を産むの状態で、此の農村を捨て、工

場に礦山に其生活の糧を求濟状態は極度の困憊して到むる事が困難となつた事は、は耳にするのである、濱口争はれない事實である。故に故に吾人は眞剣を以て首相は勿論現内閣を支持せは農民運動の正しき展開とる處の民政黨の主張は進歩とを切實に熱するものよしく現下の農村の實情である、爲政者は利己の立に眼光を徹して、農民運動の場のみで此の國家百年の大の堅實なる生育の爲めに大計の基礎たるべき農村の人膽なる理解を呈示する事を達をないがしにしてはな要望し且つ爲政治家に冷考を煩すものであると思ふ。

爛熳たる花の下に 縣下消防組頭大會

來る十五六兩日 平第三小學校に於て

第十四回福島縣消防組頭大會は本十五日十六日の兩日に平第三小學校に於て開かれた。この大會は消防組頭の職務の刷新、消防設備の充實、消防訓練の徹底等を目的として、各消防組の代表者が集つて行つた。

四聞八觀
● 消防組頭の職務の刷新
● 消防設備の充實
● 消防訓練の徹底
● 消防組間の連携の強化
● 消防組員の福利の増進
● 消防組の活動の活性化
● 消防組の社会的地位の向上
● 消防組の政治的関心の醸成

日平町第三小學校に於て舉行されるが第一日たる十五日は恒例に依り、殉職消防組員の慰霊祭を行ひ、十六日は平警察署管内聯合檢閲を執行する筈である。花の名所松ヶ岡公園に大懇親會を開催する豫定であり、平町消防組半町役場平警察署では、主催地の立場より歓迎の準備に類する多忙を極めて居り、平町にしては此の意義を有する大會に上組頭以下の容易ならざる努力は充筆を以て盡し難きものである、因に大會協賛分擔を列記せば

- ▲ 總務部 伏見彦衛 井上茂作
- ▲ 總務部 各係の連絡、副 鈴木石坂、柏原小頭部長
- ▲ 高野小頭部長、關内小頭部長
- ▲ 橋本小頭部長、遠藤助役
- ▲ 花澤文庫、酒井寅之助
- ▲ 金銭出納品物供給 關内小頭部長
- ▲ 柏原小頭部長、關内小頭部長
- ▲ 河原收入役、本田巡查部長
- ▲ 酒井小頭、佐川伍長、高

● 消防組員の福利の増進
● 消防組の活動の活性化
● 消防組の社会的地位の向上
● 消防組の政治的関心の醸成
● 消防組の社会的地位の向上
● 消防組の政治的関心の醸成

祝 第拾四回福島縣消防組頭大會

- 組頭 井上茂作
- 第一部長 石坂詮太郎
- 第二部長 柏原幸次郎
- 第三部長 鈴木長三郎
- 小頭 岡田長太郎
- 小頭 鈴木彌太郎
- 小頭 高野得助
- 小頭 三井富吉
- 小頭 關内正一
- 小頭 酒井清
- 小頭 高根澤長太郎
- 小頭 涌井兼作
- 小頭 根本幸次郎
- 小頭 佐川三郎
- 小頭 高木福太郎
- 小頭 草野喜一
- 小頭 田中宣治
- 小頭 金成泉一郎
- 小頭 阿部治
- 小頭 安部初吉

天下の注目を惹めた 石城民政黨の總會 反逆兒某君を除名

ころか作戦の失敗

幾多の問題から、内訌其極であり、提案者の心底最初に達し、彼の政戦に完全により何等かの策を蔵する事二分裂を終了した石城民政を察知せしめたに過ぎず。部會は、爾來反目を續け問却つて非難攻撃を買つた醜題の主役たる野崎滿藏縣議を演じ、更に反逆者排撃の除名問題迄で提出されるの目にて野崎滿藏氏を除名有様、臨時總會は、險惡な名處分に對する等の提議を空氣の裡に去る六日午後有さば是れ又勿論否決は當一時半より平町民政俱樂部然の形勢に陥入りたので遂階上に開かれた、數日前から除名の除の字さへも外に双方の意氣込、物凄く一出來ず終つた等は笑止の大衝突は免れぬものと見て限りであつた、全体を通し取つた、平署では宛然ら左總會召集の旨を發見する十名の官私服警官を派して此の日に佐代議士が來平し會場の内外を警戒するなど、顔を出さなかつた事を憤慨物々しき光景を呈し、ごう々たる喧騒裡に萩原義雄氏開會を宣し、直ちに縣議若松美三氏を議長に推し、先づ去る一月廿五日平町俱樂部に開ける總會に際し選定した部會役員と承認するかの部會役員と承認するかの賛否を求めたが、其否か野崎派の出席者は殆んど半數以上の數を占め、承認の採決はしたものと事實上半數なる爲め有邪無邪に附するの外なくこのツツケイを演ず、決議文の朗讀をしたが最後の「平町水道擴張工事促進を期す」は平町としての問題として本部會との關係すべき問題でないとの關係すべき問題でないとの保留となり、午後二時半所謂有邪無邪の裡に閉會したのかせぬのかで終了した。而して決議文中の二三項は、全御座なりものに過ぎず、餘りに問題の大きいため反對黨は勿論一般の物笑ひの種を與へたに過ぎず、保留になつた、水道問題等は、一見して何人も當部會に提出すべきものでない事は明か

一町民生に答ふ

某病院の投書に關して
一町民生と稱する人より本社宛に某病院では在勤なき某〇君をして恰も在勤中の野崎派の出席者は殆んど半數以上の數を占め、承認の採決はしたものと事實上半數なる爲め有邪無邪に附するの外なくこのツツケイを演ず、決議文の朗讀をしたが最後の「平町水道擴張工事促進を期す」は平町としての問題として本部會との關係すべき問題でないとの關係すべき問題でないとの保留となり、午後二時半所謂有邪無邪の裡に閉會したのかせぬのかで終了した。而して決議文中の二三項は、全御座なりものに過ぎず、餘りに問題の大きいため反對黨は勿論一般の物笑ひの種を與へたに過ぎず、保留になつた、水道問題等は、一見して何人も當部會に提出すべきものでない事は明か

郡南の巨星

植田物産事務
山崎登氏
郡南の都市とも稱すべき植田物産株式會社の重役席に才幹進る如き青年紳士こそ誰れあらう

三井吳服店の好評

常磐線の第一の繁榮地イワキの平……常磐の三越と謂ひば、三町目角の大商店三井吳服店を指すものであらう。
店主柏原幸次郎氏は前平町町會議員にして現平消防組最高幹部、副組長を以て御大、井上茂作氏を補佐し以て、平町消防組が全国的に其範を示すに至りたるは、蓋し人格者たる柏原幸次郎氏の努力の反映と謂ふも決して過言ではあるまいと思ふ。公人として更に重大なる使命を帯び將來平町建設に與つて力ある人物である。故に三井吳服店の營業は恰も業界の水平線より一

皆様吳服の御買出しに

御待ちして居ります

三井吳服店

電話七五三三八番

醫療の社會化と 醫藥分業論 (一)

現在の醫療制度では、治療の一切が醫師乃至醫師團の手に拘らず、醫師團の體の意志で、割り出され、故に其の當不當に對し、完全な

鮮魚商 松大堀松吉

歩向上せる活動振りとも高
等の營業政策を善用し恒
に顧客の信用を博し更に
人氣の焦點となつて居る
のである。
凡ゆる流行の魁は、時代
の尖端を走りて、廣汎な
る範圍に有せる三井ア
ンの愛用者の満足に十二
分に與へつゝあるは當に
磐城の天地に刮目に値ひ
あるものと記者は、其隆
盛と繁榮を衷心より希ふ
ものである。
昨春、堂々たる新館の増
築も當然の逐年倍加す
る顧客の満足と幸福とを
附與する止むを得ざる大
自然の現象であると思ふ
のである。(市島生)

名菓の松月堂

菓子子の老舖松月堂は平町
の代表的商店である。
店主金子氏は温健圓滿の
紳士にして、親切第一主
義を「モット」として常
に嶄新なる珍菓の製造に
研究し、松月堂の菓子に
非ざれば、上流社會の家
庭にて用ひする程の好評
を博して即ち優良なる菓
子の松月堂なりと好評

三井吳服店の好評

常磐線の第一の繁榮地イワキの平……常磐の三越と謂ひば、三町目角の大商店三井吳服店を指すものであらう。
店主柏原幸次郎氏は前平町町會議員にして現平消防組最高幹部、副組長を以て御大、井上茂作氏を補佐し以て、平町消防組が全国的に其範を示すに至りたるは、蓋し人格者たる柏原幸次郎氏の努力の反映と謂ふも決して過言ではあるまいと思ふ。公人として更に重大なる使命を帯び將來平町建設に與つて力ある人物である。故に三井吳服店の營業は恰も業界の水平線より一

平町四町目
三國屋海産問屋
電話百七十三

衛生相談 平町五丁目角
處方調劑
藥品一般
滋養藥品
体温計
養蠶用寒暖計並に農藝用殺虫消毒藥
特價提供
山野邊藥局
藥劑士 山野邊東次郎

四倉中町
生と泉屋
電話七三
額賀醫院
平町南町
電話一四番

平町南町
大和家
電話一四番
平町南町
松本樓
電話一四番

平町二丁目
清關内油店
電話八三九、長十六番

平町二丁目
滑川敏之輔
電話七〇三
平町
上材木店
電話六〇番

磐城國平町驛前
平サービステーション
電話六一一番

平町二丁目一番地
醤油味噌
正宗
電話七五番

花は櫻保險は住友
愛しき妻子の爲めに
老後を樂しむ爲めに
子女の教育結婚の爲めに
事業資金の爲めに
經營者ノ確實ナル信用有ル全ク
契約者本位ナル保險料ノ最モ安
イ住友生命へ御ス、メ致シマス
住友生命保險株式會社
平事務所 **福島寛利**
平町長橋町
代理店 **金成泉一郎**
平町材木町(電話七〇四番)

高級車グラハムページ新型
セダンが入車致しました
是非御試乗下さい
平町驛前
昭和タクシー
澤 正路
電話三四三番

平町二丁目
三井自動車部
呼出電話八番

平町二丁目
尼子自動車部
電話六百四拾番

平町一丁目
松崎自動車部
電話四四九番(八十三番)

諸看板製作
石版印刷
大音堂看板店
平町白銀町

祝福總新聞參週年
山崎合名會社
電話一〇番

石城郡町村長

對黨は勿論一般の物笑ひの氏は明治二十七年八月錦村種を興へたに過ぎず、保留中田の名門家山崎國雄氏の種になつた、水道問題等は長男として孤々と産聲を擧見して何人も當部會に提出し、幼少時代より神童と稱すべきものでない事は明かされ、其の性常は常に刷新する心を致す。

立せしめて、其の努力の結果が今日の隆盛を得手に帆を擧げて進まん事と地康とを嚮するものである（市島錦波）

皆様吳服の御買出しに是非御來店下さい。御待ちして居ります。

三井吳服店

電話七五一三八番

たひら正宗 醬油 味噌

山崎合名會社

祝福總新聞參週年

醫療の社會化と醫藥分業論（一）

明友藥劑師會福島支部長 藥劑師 山野邊東次郎

甲醫療制度の欠陥 疾病に對する不安 今日醫療を必要とする病も現時生活費に對する治療氣に罹つた場合、誰しも一種の不安を感じないものは稀れであります。之れほどの病氣でなくとも現時生活費に對する治療費の比率は、度外れに高く其の爲めに誰しも生活の脅威を感じずには濟まないのであります。

此の如き、疾病に對する不安や脅威は何に起因するのでありませう乎。素より種々なる原因が累なり居るに違ひないが、取り分け重大な關係を持つものは現在の醫療制度の欠陥であります。

（二）現在の醫療制度

現在の醫療制度では、治療の一切が醫師乃至醫師團の意志で、割り出され、故に其の當不當に對して他から干渉する機會がありません。結局患者の負擔は醫師が勝手に決定する事になり、幾分高價な治療費を課せられても否應なし之れを甘受しなければならぬのであります。

一般大衆の生活に於て、他の總ての生活行為は個人の自由を認めて居ります。假令は衣食住何れの經濟にしても、各人の生活能力に従ひそれ相當の程度に於て選擇の餘地がありますから、不相當の出費を避ける事ができます。

然るに醫療に關する費用は公人としては現町會議員、消防頭等の要職に就けり來秋の縣議戰の出馬に余儀なくなるではなにかとも記者は仰感するものである。

（以下次號）

平町各商店評判記

松風生

警城平、人の悪いイワキの平など昔の噂を耳にして未知の平町に來り、早や二星霜を過ぎたが面白い土地だと思ふ營業部員兼務の文筆労働者たる松風生をして印象に有する儘の、商店評判を書いて呉れとの市島主幹の御話し、頗る六ヶ敷い事と存じます、商店と申して各種業を通じて一寸と短評を試みる事と致さう。

平二丁目

關内油店 店主 關内正一 電話一六六番

平町二丁目の清水屋一家たるカネ清と申さば老舗だ、店主關内正一氏は警中卒業後明大の商科を了したる秀才である、紳商として實業家として亦た反面には青年政治家である、警城七濱の漁船は勿論自動車用其他重要な油類を殆ど一手販賣の感を以て販賣せり、其發展振りは旭日昇天の勢であり實に信用の向上と賣上げ増加とは素彼らさものである。

昨年の春郡山に支店を設置し本春は四丁目角新郵便局向側に自動車ガソリンの配給所なども設けて需用者の便宜を圖るなど實に新らしき氣分の營業政策などは鶏群の一鶴の感である、店主關内正一氏は亦た公共的事業方面にも尠ざる貢獻を爲し復

昭和タクシー

平町前電話三四三番 店主 澤正路

文明利器交通網の發達は夫れ往時は軌道を走る流車若しくは馬車の如きものであつた、西洋の文華は東洋に流れ入り、東北の大阪とも申すべき繁榮の地、平町のタクシーの元祖と申せば誰れか、夫れは尼子の女婿であり昭和タクシイの經營者たる澤正路君であるらう。澤氏は其技術に於ても地方稀れに見る、優秀なるものにして恒に同業者より遙かに一步流行の影を趁ふ事、實に明敏である。

一九二九年式の新シボレーを購入し、昨春平町前馬に余儀なくなるではなにかとも記者は仰感するものである。

同氏の營業は、平町の同業者を壓する感あらん乎日一日と其隆盛と發展向上するのみである。

同業者は種々なる、營業政策を以て自己の擴張せんとする時、先見の眼識ある澤氏は、今度茲に巨費四千九百餘圓を投じてグラハムページの新型を購入したり、蓋し澤氏の怪腕に非ざれば企圖し、難きものであらう。

日を趁ふて復雜化する交通網の貢獻に更に大なるん事を嚮るものである。

記者は料理店食道樂の卷に入つて見よう。

警城國平町驛前 平サービステーション 電話六六一番

海産物 鮮魚商 松大堀松吉 電話七五五番

壽坂本紙店 電話一八八番

會田時計店 電話三六三番

鶴屋洋品店 電話百四十番

和久井屋漆器店 電話四〇五

小松崎本店 電話七七〇

根本松太郎 江名

平川醫院 江名

首藤醫院 江名

蒲鋒の御用は是非

藤市へ 大勉強 遠藤市松

節向磯田揚 御花見用折詰類

諸看板製作 石版印刷 大音堂看板店 平町白銀町

石城郡町村長

尚美堂藥店 平町田町 電話二六八番

陳野洋品店 警城平二丁目

警城建物株式會社

大谷時計病院 電話一九番

馬目玉彌商店 電話百〇壹 四五三

越乃家 平町 御料理 牛肉 電話三三三

石川亭 御料理 牛肉 電話四三三

お花見のお歸りには 二笠亭へ 電話四一七

愉快な春の行樂に 松本屋のパンを

食パン 一斤十六錢 食パン 一斤十六錢

甘ミレバ 食パン 一斤十六錢

ヤマモツマ 電話二四番

平町各商店評判記

●石川亭

電話四十三番

平町の銀座とも稱すべき田町舊郡街通りに三層樓高くソビエル堂々たる模造西洋館、夫れは、石川亭である。牛肉料理、石川、牛肉料理石川と謂ふ如く、記者の聯想せしむるものである、赤井嶽嵐ビュノと吹く晩冬の夕は、此の美味にして廉價なる石川亭の牛肉に恵まれてこそ更生の思ひをするであらう、平町の代表的牛肉店として誇るに足るものは石川亭あるのみと斷言するも決して過言であるまい。

●一の井

電話一六七番

「一の井」と西洋料理とは花見と酒とを呼起す如きである、仲田町の一角、清楚なる建物、氣分よき座敷美味なる西洋料理殊にフランス料理など、超平氣分のものである。記者は、西洋料理業の代表者として推賞したのである。

●大貞

電話四一三番

大貞は平町花柳街の中心地に美且つ壯麗なる建物を新築せられたるは先年であつた松ヶ岡公園の櫻花は既に梢に辭さんとして居る時食道樂を以て誇張する、純日

警械セメント持約販賣店
和洋銅鐵金物問屋

久釜屋商店
電話九番 一三九番

高久病院
醫學士 高久 忠雄
新海醫學士 赤羽 清雄
藥劑士 佐竹 菊雄
內科小兒科 外科科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

目三井履物店
平一丁目 電話百五十六番

廣瀬支店
平町一丁目 電話五四番

關彰商店平支店
電話六十一番

坂田金物店
平町二丁目 電話一八八番

伊勢屋商店
平町四丁目 電話四十五番

山家メソヤス店
平町一丁目 電話六〇五番

關内藥局
平町四丁目 (電話四〇番)
藥劑士 關内 榮助

長松崎長三郎商店
平町新川町 電話一七二番

大竹芳之助商店
平町五丁目 電話二二二番

安吉村製綿店
平町研町 吉村 安次郎

大黒屋久治商店
平町本町通り三丁目 電話一六六番

マルトモ柴田書店
書籍。雜誌。文房具
平町四丁目 電話二三四 九〇五番

大一屋商店
平町二丁目 電話一三三番

百澤商店
平町四丁目 電話一三三番

漆器 本丸ほん
家具と漆器
平町三丁目 電話三五九番

西村屋藥鋪
平町二丁目 電話長三番

清白萩平支店
平町研町 電話四四三番

濱屋支店
御料理 鮮魚 仕出し
電話四四三番

かまぼこ 卸問屋 鈴木 勇
磐城平町 電話二〇番

割烹 末廣
松ヶ岡公園池の端 電話四二二番

割烹 とききわ
松ヶ岡公園園 電話二二六番

割烹 あまこ亭
電話二三〇番

御料理 仕出し のんき
電話四六一番

老海勢伊
御料理 立 獻 御
ラブスターフライ
ラブスターバリー
ラブスターアメリ
ラブスターテルミ
各種リセージ 他
平町田
一の井
電話一六七番